

事業名	家畜病性鑑定事業費	財務コード (事業)	457803
-----	-----------	---------------	--------

細事業名	動物用医薬品危機管理対策事業費
------	-----------------

担当部課室	農政 部 畜産 課 安全・衛生 担当 (内線)	5264
-------	-------------------------	------

I 事業の概要

実施期間	始期 H12 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>誰(何)を対象に 畜産農家、動物用医薬品製造者及び販売業者</td> <td>その対象をどのような状態にして 品質が確保されている動物用医薬品を取り扱うことができる。</td> <td>結果、何に結びつけるのか 食の安全・安心</td> </tr> </table>	誰(何)を対象に 畜産農家、動物用医薬品製造者及び販売業者	その対象をどのような状態にして 品質が確保されている動物用医薬品を取り扱うことができる。	結果、何に結びつけるのか 食の安全・安心
誰(何)を対象に 畜産農家、動物用医薬品製造者及び販売業者	その対象をどのような状態にして 品質が確保されている動物用医薬品を取り扱うことができる。	結果、何に結びつけるのか 食の安全・安心		
事業の内容 ※主に 23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○動物用不良医薬品の品質検査                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品販売業者への立ち入り検査や医薬品の収去</li> <li>・ 収去した医薬品の表示事項検査及び品質検査</li> </ul> </li> <li>○薬剤耐性菌の検査                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細菌検査材料の採材及び薬剤使用実態調査</li> <li>・ 家畜の糞からの細菌分離及び薬剤に耐性を持つ発現状況の調査</li> </ul> </li> <li>○動物用医薬品危機管理対策研修会及び耐性菌研修会への参加</li> </ul>			
根拠法令等	薬事法、食の安全・安心確保交付金実施要領等			

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	22年度	23年度		24年度	25年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	①動物用医薬品品質検査	2検体	3検体	2検体	3検体	3検体	目標設定の考え方 過去の実績から設定(国からの動物用医薬品の指定品目及び県内流通状況により検査対象品目が決まる) データの出典等 家畜保健衛生所実績報告
	②薬剤耐性菌検査	24検体	24検体	24検体	24検体	24検体	
	計	計26検体	計27検体	計26検体	計27検体	計27検体	
活動指標達成率 (実績値/目標値)		96.3 %					
成果指標	①検査における不良医薬品の割合	0%	0%	0%	0%	0%	目標設定の考え方 検査医薬品の不具合件数「0」及び、薬剤耐性菌出現件数「0件」を目標値として設定 データの出典等 実績報告書(家畜保健衛生所)
	②検査における薬剤耐性菌の出現率	0%	0%	0%	0%	0%	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)		%				
決算額、予算額	625	568		521	469	成果指標によらない成果	
(千円)							
うち一財額	315	285		262	235		
所要時間(直接分)	77 時間	77 時間		77 時間	77 時間		
所要時間(間接分)	時間	時間		時間	時間		
所要時間計	77 時間	77 時間		77 時間	77 時間		
人件費コスト 単位:千円 (@2,021円×所要時間)	156	156		156	156		

III これまでの事業の見直し・改善状況

--

**IV 活動量と成果の判断(平成23年度の業績評価)**

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)		
数値判定 H23年度 活動指標 達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 ※数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H23年度 成果指標 達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 ※必ず記入すること 動物用医薬品の不適合事例は無く、家畜への薬剤耐性も確認されていない。 このことから、畜産農家での適正な生産振興(畜産物の安全性確保)及び消費者への安全で安心な生産物の提供が図られている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

**V 見直しの必要性(平成25年度に向けた改善等の考え方)**

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目
無		

・「IV以外の判断項目」の欄  
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) ※行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説明	IV以外の判断項目

・「IV以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

**VI 見直しの方向(平成25年度当初予算等での対応状況)**

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、V見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。